

令和3年度 入札監視委員会議事概要

航空自衛隊

開催日及び場所	令和3年6月30日(水) 福岡第2合同庁舎10階 共用打合室4
委員	牧角 龍憲 (大学名誉教授) 松藤 泰典 (大学名誉教授) 諏佐 マリ (大学准教授) 柴田 祐二 (公認会計士) 徳永 響 (弁護士)

II 契約実施機関が締結する契約（地方防衛局等が発注する建設工事等を除く。）に関する審議

審議対象期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日	
審議対象件数	5, 258件	
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）		
抽出件数	3件	(審議概要) 1 発注実績について 2 抽出事案について
一般競争	2件	
指名競争	0件	
随意契約	1件	
	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<p>【発注実績について】 特になし</p> <p>【抽出事案について】 ○地方調達について 1 【デジタルカメラ外14品目】 (一般競争) (1者応札)</p> <p>・落札率が59.2%ですが、どのように評価していますか。</p> <p>・屋外フードの落札率が他に比べ比較的低いことについてはどう考えますか。</p>	<p>・比較的低かったと考えます。 なお、今回の結果については、予定価格算定の基礎となる割引率の見直しの際、役立つと考えます。</p> <p>・業者の得意不得意、在庫状況、納品時期などによるものと考えます。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>・ 予定価格をどのように算定していますか。</p> <p>・ 信頼性を持った見積を提出していただけるように取り組んで頂きたい。</p> <p>2 [生コンクリート] (一般競争) (複数者応札)</p> <p>・ 予定価格はどのように算定していますか。</p> <p>・ 工場の停止等により生コンクリートが納品できなくなった場合のリスクはどのように想定していますか。</p> <p>・ 納品できなくなった場合のリスクについて考慮することは重要ですので、こういう場合の対応について検討しておいた方が良いと思います。</p> <p>・ 11月10日に公告、11月26日に入札されていますが、公告期間は適正なのでしょうか。</p>	<p>・ カタログに記載のある品目についてはカタログ価格に割引率を反映させ、カタログに記載のない品目については、業者見積を徴収し算定しています。</p> <p>・ 今後も、複数の業者に対し市場価格調査を行い、適正な予定価格の算定を行います。</p> <p>(本件の契約相手方と利害関係にある委員1人が一時退席)</p> <p>・ 建設物価等標準資料に基づき算出しています。</p> <p>・ 工場の停止等で納品できなくなった場合は契約解除を行い、別途契約を行い、所要の生コンクリートを調達することになります。</p> <p>・ 法律で定められている公告期間10日に対し16日を確保しているので適正であると考えます。なお、令和3年度からは競争性拡大のため、公告期間を30日としています。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>3〔車両純正部品外〕 (随意契約)</p> <p>・ 応札者が5者いますが、落札率が100%となった経緯について説明してください。</p> <p>・ 落札率については、表記を検討されたい。</p>	<p>・ 本案件については、個々の車両部品について単価を定めて契約するものではなく、各メーカーの純正部品及び優良部品の定価に対する割引率をもって契約を締結しています。</p> <p>通常単価契約の場合、部品毎の単価を定めて契約するのですが、車両部品は、一部定期交換（暦日交換）品目を除き、不具合が生じた都度交換するため、数万個ある部品の中から、必要となる車両部品をあらかじめ特定することが困難であり、前述の方法により契約を締結しているものです。</p> <p>当該契約の落札率を算出する際、予定価格は定価に契約の割引率を乗じた金額とし整理しているため、契約金額と同額となり、結果、落札率が100%となったものです。</p> <p>・ わかりました。</p>